

# 第52期 第2四半期株主通信

平成24年4月1日から平成24年9月30日

# TAKAMAZ

**高松機械工業株式会社**

[証券コード6155]

# 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成24年9月30日をもちまして第52期第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日)を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **高松 喜寿志**

## ■ 当第2四半期連結累計期間の市場動向および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高、欧州債務問題などの景気下振れリスクが存在する中で、東日本大震災からの復興需要や個人消費の増加によって内需が底堅く推移し、厳しい状況の中でも緩やかに回復を続けてきましたが、世界景気の減速から輸出が低迷するなど、回復の動きに足踏みが見られるようになってきました。

工作機械業界におきましては、円高や欧州経済の不安が続く中、中国で反日デモが発生するなど先行きの不透明感が強まりましたが、工作機械需要は堅調さを維持してきました。

このような環境の中で当社グループは、工作機械業界で需要をけん引している海外市場への対応強化をはかってきました。例えばタイ市場では、TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.にてプライベート・ショーを開催しました。非常に盛況で、多くの引合をいただきました。

また、中国市場では、シェア拡大をはかるために日系自動車関連企業が多い広州に喜志高松貿易(杭州)有限公司広州分公司を設立し、平成24年9月より本格稼働しています。なお、当社グループは中国・杭州に生産工場がありますが、反日デモによる直接の被害はありませんでした。

アメリカ市場でも、平成24年9月にシカゴで行われましたIMTS2012に新製品「XL-150」「XY-120 PLUS」など全9機種を出品し、景気回復基調に伴って拡大傾向にある需要の取り込みをはかって積極的な営業活動を行ってきました。

国内市場では、自動車業界からの需要が回復してきていることから、省エネ・省スペース製品を提供してきたほか、これまでのノウハウと自動化技術をもって、ユーザが国内に設備投資する場合だけでなく、海外に設備投資する場合にも最適な提案を行うことで、特に海外進出の積極化をはかっている大手ユーザからの受注獲得に努めてきました。

生産におきましては、より多くの製品を提供していくために、設計や組立などで外注

を効果的に活用しておりますが、更に生産能力拡大をはかるために本社工場の増築に取り掛かっており、今年度中の完成予定であります。

以上のような営業活動を行ってきた結果、当第2四半期連結累計期間の工作機械受注高が60億96百万円(前年同期比4.8%増)、売上高が74億10百万円(同17.2%増)の増収となりました。また、営業利益が6億51百万円(同365.1%増)、経常利益が7億11百万円(同315.8%増)、四半期純利益が5億16百万円(同408.8%増)と、原価低減活動や生産効率化に努めてきた成果が現れ、大幅な増益になりました。

## ■ 今後の見通し

日本経済は世界景気減速の影響を受けて踊り場にあると見られておりますが、景気先行きは、当面の間弱く推移した後に、復興需要や海外経済状況の改善から再び回復に向かうことが期待されております。

工作機械業界におきましても、日系自動車メーカーが中国で減産しているものの、その他アジア諸国の成長やアメリカ経済の回復が期待され、需要の堅調さが維持されていくと見込まれております。

そこで当社グループでは、需要拡大が見込める海外市場への対応強化を今後も継続して行っています。

中国市場では、中国経済動向や日中間題の影響に若干の懸念があるものの、今後も市場拡大が見込まれることから、販売会社である喜志高松貿易(杭州)有限公司で営業活動を推進するとともに、生産合併会社である杭州友嘉高松機械有限公司では

新工場建設によって生産能力の拡大をはかっていきます。

アジアの中でも市場の拡大が見込めるインドネシアで現地法人の設立準備中であり、今年度中の営業開始を予定しているとともに、投資拡大が進むタイにも注力していきます。その他回復してきているアメリカ市場で、自動車関係にとどまることなく医療関係・航空機関係に対しても積極的な営業活動を展開していきます。

国内市場では、当社グループの得意とする自動化技術・ノウハウをもって、国内設備の需要掘り起しをはかります。また、大手ユーザでは、海外生産の増強や国内・中国からの生産拠点移転などで、海外設備投資案件が増えていくと見込まれます。そこで当社グループでは、これまで同様に、海外に設備する際にもユーザに最適な提案を行うことに注力していくことで、受注獲得に努めます。

現在、本社工場の増築を進めておりますが、合わせて生産管理システムの見直しも行うことで生産の効率化をはかっていきます。

IT関連製造装置事業では、半導体も液晶も厳しい環境にありますが、積極的な営業を継続して受注確保をはかります。自動車部品加工事業では、適切な生産を継続していくとともに、今後の事業規模拡大に向けた活動を推進していきます。

当社グループは、全社一丸となって目標の達成に向けてまい進していく所存でありますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年12月

# トピックス

## 展示会に出展しました



### IMTS2012(平成24年9月10日～9月15日開催)

IMTS2012(シカゴ国際工作機械見本市)は、世界でトップクラスの規模を誇り、世界三大工作機械見本市のひとつに取り上げられています。

アメリカ・シカゴで2年に1度開催され、世界116ヶ国から多くの来場者が訪れる一大イベントですが、今回は前回は上回る10万人もの来場者が訪れ、会場は大いに盛り上がりました。

当社ブースでは新製品「XL-150」をはじめ、主力機種である「XC-100」など全9機種を出品し、活発な商談が行われ、多くの引合をいただくことができました。

### JIMTOF2012(平成24年11月1日～11月6日開催)

日本工作機械工業会が主催するJIMTOF2012(日本国際工作機械見本市)が11月1日～6日の6日間、東京ビッグサイトにて開催されました。

JIMTOFは、世界19の国と地域から約600社が出展するアジア最大級の工作機械見本市であり、今回も世界各国から約13万人もの人々が来場されました。

当社は、JIMTOF初出品の3機種を筆頭に全9機種の製品を披露しました。製品加工のデモンストレーションによる製品紹介などを行った結果、たくさんの受注に結びつきました。



## 第35回千代女あさがおまつりに出展

～あさがおや つるべとられて もらひ水～

地元白山市の俳人「加賀の千代女」の句にも詠まれており、白山市の花として制定され親しまれている朝顔を、毎年61の企業や団体が一堂に展示する「千代女あさがおまつり」が8月初旬に行われ、当社が出品した朝顔が白山商工会議所会頭賞に選ばれました。

今後もこのような活動に積極的に参加し、地域に貢献していきます。



# 職場紹介 =海外編= (タカマツマシナリータイランド)



タカマツマシナリータイランド(以下、TMTと  
いいます)は、タイの首都・バンコクから車で30  
分ほどのところにあるバーンプリー工業団地  
(サムットプラーカーン県)にあり、従業員は現  
地採用の社員14名と当社から出向している社  
員2名の合計16名です。タイの気温は平均  
30℃とかなり暑く、日本でいう冬の時季でも  
26~27℃近くあり、最高気温は何と40℃にも  
なりますが、TMTメンバーはそんな暑さにも負  
けず、元気よく仕事に取り組んでいます。

TMTでは、タイをはじめとするASEAN諸国  
(インドネシア、ベトナム、シンガポール、マレー  
シア、フィリピン)に工場がある日系ユーザや現  
地ユーザを対象として、当社製品の販売やアフ  
ターサービスを行っています。

近年、市場拡大が進むASEAN諸国に多くの  
日系企業が進出していく中で、労働者の賃金  
アップによる人件費負担の増加が企業側の頭



ショールームでのプライベート・ショー



を悩ませています。「もっと機械を自動化し、人  
件費を減らしたい」というお客様の声にお応え  
して、当社が得意とする全自動の機械をお客様  
の要望に合わせて提案し、それぞれのお客様  
に合う最善の製品を使っていただくためには、  
提案する営業員自身に十分な知識がないとい  
けません。豊富な知識を身につけるため、TMT  
メンバーは当社の過去実績をベースとした勉  
強会を日々実施し、知識習得に励んでいます。

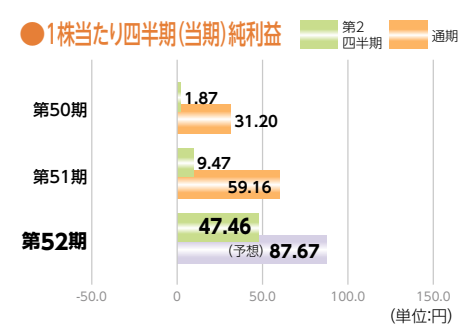
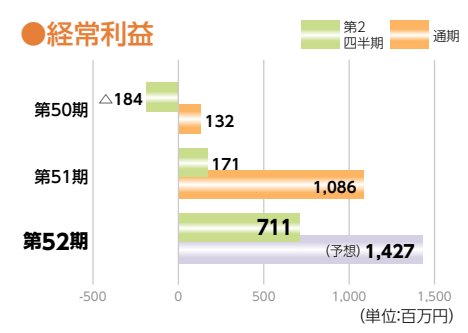
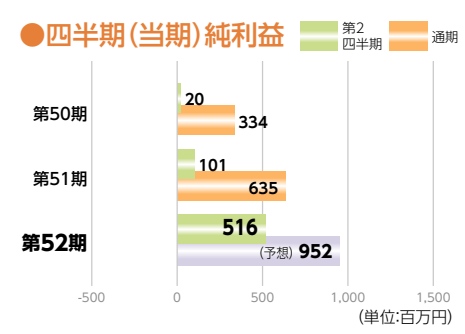
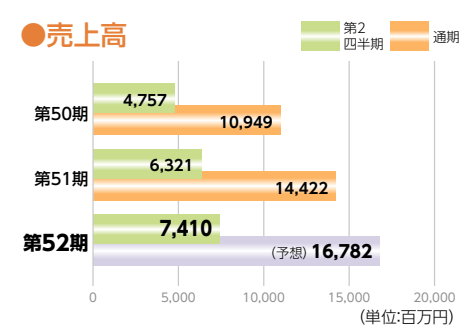
TAKAMAZの製品をたくさんのお客様に  
使っていただき、皆を笑顔にしていきたい。そんな  
想いを胸に、TMTメンバーは今日もまた、  
お客様に役立つ製品の提案に力を注いで  
います。

# 業績の推移

## 連結業績ハイライト

科 目		第50期 (平成22年度)	第51期 (平成23年度)	第51期第2四半期 (平成23年度)	第52期第2四半期 (平成24年度)
売上高	(百万円)	10,949	14,422	6,321	7,410
営業利益	(百万円)	83	988	140	651
経常利益	(百万円)	132	1,086	171	711
四半期(当期)純利益	(百万円)	334	635	101	516
純資産額	(百万円)	8,129	8,739	8,204	9,163
総資産額	(百万円)	14,343	15,791	14,915	16,190
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	31.20	59.16	9.47	47.46
1株当たり純資産額	(円)	752.50	799.32	757.27	838.33

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 第2四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	科目	前期末 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,704</b>	<b>11,146</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,480</b>	<b>5,442</b>
現金及び預金	2,860	2,547	支払手形及び買掛金	4,080	3,792
受取手形及び売掛金	5,352	5,479	短期借入金	829	829
商品及び製品	410	605	未払法人税等	41	256
仕掛品	874	1,237	賞与引当金	162	216
原材料及び貯蔵品	879	914	役員賞与引当金	23	15
その他	332	366	製品保証引当金	36	25
貸倒引当金	△ 5	△ 5	その他	307	305
<b>固定資産</b>	<b>5,086</b>	<b>5,043</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,571</b>	<b>1,584</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,110</b>	<b>4,021</b>	長期借入金	767	717
建物及び構築物(純額)	949	923	退職給付引当金	488	499
土地	2,326	2,326	役員退職慰労引当金	272	291
その他(純額)	834	771	その他	42	75
<b>無形固定資産</b>	<b>68</b>	<b>96</b>	<b>負債合計</b>	<b>7,052</b>	<b>7,026</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>907</b>	<b>925</b>	<b>(純資産の部)</b>		
その他	908	926	<b>株主資本</b>	<b>8,687</b>	<b>9,170</b>
貸倒引当金	△ 0	△ 0	資本金	1,835	1,835
<b>資産合計</b>	<b>15,791</b>	<b>16,190</b>	資本剰余金	1,826	1,823
			利益剰余金	5,089	5,552
			自己株式	△ 64	△ 40
			<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 6</b>	<b>△ 16</b>
			その他有価証券評価差額金	44	28
			繰延ヘッジ損益	-	△ 0
			為替換算調整勘定	△ 50	△ 45
			<b>新株予約権</b>	<b>58</b>	<b>8</b>
			<b>少数株主持分</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>8,739</b>	<b>9,163</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>15,791</b>	<b>16,190</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 第2四半期連結財務諸表

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	6,321	7,410
売上原価	4,924	5,488
売上総利益	1,396	1,921
販売費及び一般管理費	1,256	1,270
営業利益	140	651
営業外収益	47	70
営業外費用	16	9
経常利益	171	711
特別利益	3	47
特別損失	3	1
税金等調整前四半期純利益	171	757
法人税・住民税及び事業税	29	262
法人税等調整額	40	△ 21
少数株主損益調整前四半期純利益	101	517
少数株主利益	0	0
四半期純利益	101	516

## 四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101	517
その他の包括利益	△ 6	△ 10
その他有価証券評価差額金	△ 9	△ 15
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
四半期包括利益	95	506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94	506
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 109	△ 180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 32	90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 373	△ 95
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 514	△ 182
現金及び現金同等物の期首残高	1,230	1,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	716	1,471

(注) 各計算書において、記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

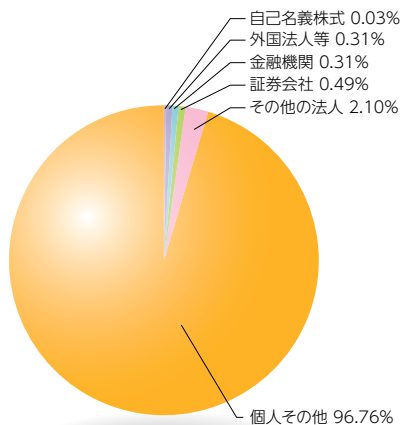


# 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

## 株式の状況

- ①発行可能株式総数 ……………30,000,000 株
- ②発行済株式総数 ……………11,020,000 株
- ③1単元の株式数 ……………100 株
- ④株主数 ……………3,236 名

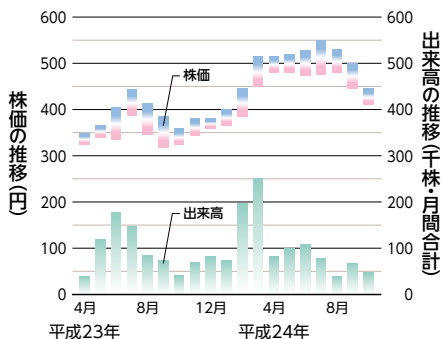
## 所有者別分布状況



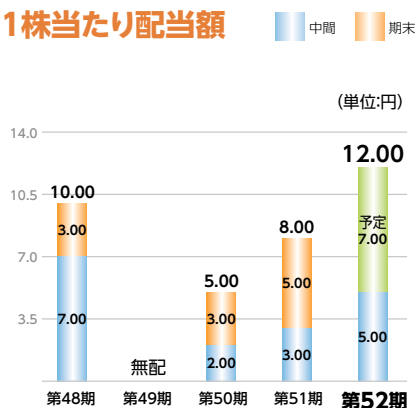
## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	810	7.36
株式会社タカマツ	810	7.35
日本生命保険相互会社	480	4.36
高松機械工業社員持株会	436	3.96
北国総合リース株式会社	433	3.93
株式会社北国銀行	408	3.70
三井住友海上火災保険株式会社	408	3.70
株式会社朝日電機製作所	361	3.28
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
高松明毅	330	3.00

## 株価インフォメーション



## 1株当たり配当額



# 会社の概要 (平成24年9月30日現在)

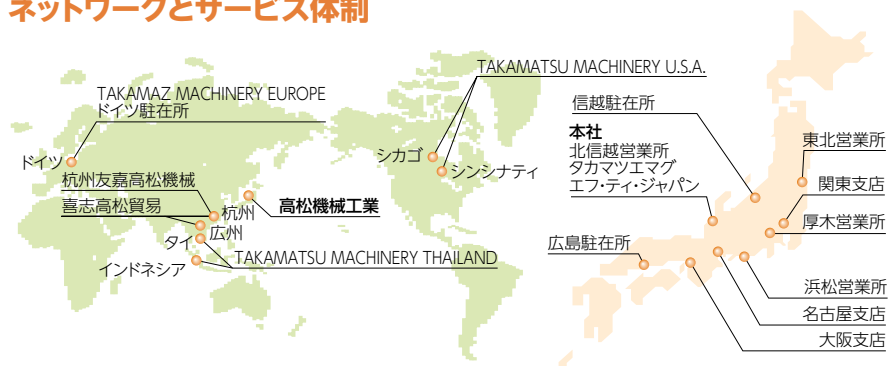
## 会社概要

商号	高松機械工業株式会社
設立	昭和36年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	425名
子会社および関連会社	TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC. TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD. TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH 喜志高松貿易(杭州)有限公司 株式会社タカマツエマグ 杭州友嘉高松機械有限公司 株式会社エフ・ティ・ジャパン
ホームページアドレス	<a href="http://www.takamaz.co.jp">http://www.takamaz.co.jp</a>

## 役員

代表取締役社長	高松 喜与志
常務取締役(生産本部長)	前田 充夫
常務取締役(営業本部長)	中西 与平
常務取締役(管理本部長)	溝口 清隆
取締役(生産本部副本部長兼製造部長)	宮川 隆
取締役(営業本部海外営業部長)	徳野 穰
取締役(生産本部生産管理部長)	中川 進
取締役(管理本部総務人事部長)	高松 宗一郎
取締役(社外)	中西 祐一
常勤監査役	池上 佳信
監査役(社外)	鍛冶 敏弘
監査役(社外)	杖 村 修司

## ネットワークとサービス体制



# 製品のご紹介



## NEW XL-150

複合加工のニーズの高まりに合わせて、クラス最大能力の回転工具を搭載。切削能力のアップで大幅に加工時間を短縮し、消費電力量を抑えた省エネタイプの複合加工機です。



## NEW XY-120 PLUS

お客様の多様な加工パターンへの要望に対応できる複合加工機にモデルチェンジ。同時加工により加工時間が短縮され、従来機より1.5倍の生産性を実現しました。

## アンケートのご報告

単元株主様の第51期株主通信に同封しました「株主アンケート」におきましては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

単元株主数	2,565名
アンケート回答数	686名
アンケート返信率	26.7%

### ●当社をどのようにしてお知りになりましたか？ (複数回答可)

会社情報・四季報	40.4%
証券会社の紹介	37.5%
新聞・雑誌等	17.8%
当社関係者の紹介	4.1%
ホームページ	3.9%
会社説明会	2.3%
無回答	1.0%
その他	7.6%

### ●当社の株式について今後どのような方針をお持ちですか？

長期保有	57.1%
未買増し	12.2%
売却	3.8%
無回答	1.9%
定額	27.7%

### ●当社の株式を購入された理由はなんですか？ (複数回答可)

将来性	51.6%
値上がり期待感	36.0%
収益性	23.3%
事業内容	22.2%
証券会社勧誘	16.9%
財務内容	14.1%
安全性	11.5%
無回答	1.2%
その他	3.1%

### 【上記方針を決定するための判断材料はなんですか？(複数回答可)】

株価	48.8%
業績	37.9%
配当	36.6%
中期事業計画	8.7%
無回答	15.3%
その他	2.9%

254名の皆様よりいただいたご意見・ご質問の中からその一部をご紹介します。  
貴重なご意見をいただきありがとうございました。

- 業績も回復し、増配されると伺い繁栄が楽しみです。(64歳男性)
- 現状の業務の強み弱みと将来需要が見込める業界へのシフトを利益の出ている時こそ力を注いで将来にそなえて欲しい。(69歳男性)
- 引続き信用を落とさず更にTAKAMAZの名が上る様に発展させて貰いたい。(73歳男性)
- 海外への進出で活躍されている事を知り心強く思っています。他社に負けない様に更なる飛躍を念じています。(84歳女性)

株主の皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、企業価値の向上およびIR活動の拡充に努めてまいります。今後とも更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月中  
株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日  
(2) 期末配当金 3月31日  
(3) 中間配当金 9月30日  
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417

〈※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります〉  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031

(インターネットホームページURL) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社ホームページに掲載 <http://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部  
TEL 076-274-1411〈直通〉 FAX 076-274-1418

## ホームページのご案内

平成24年7月、当社のホームページをリニューアルしました。  
会社概要をはじめ、IR情報や製品情報などさまざまな情報を掲載しています。  
是非ご覧ください。



ホームページ <http://www.takamaz.co.jp>



**TAKAMAZ**  
高松機械工業株式会社

**r2100**  
**UD FONT**

このパンフレットは再生紙を使用しています。  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

